

科目名	ホテルスタッフ教養						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系企業にて秘書として勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科2年						
授業概要	主に就職活動として履歴書添削や面接練習を行い就職内定へ繋げる。同時に社会人、また、ホテル・ブライダル業界スタッフとして即戦力で活躍できるよう身嗜みをはじめマナーや言葉遣いを身につける。専門性を交えながらお客様や取引先との対応方法を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持することができる	
				○		社会人としてのマナー(挨拶・電話・メール・態度など)を身につけ実践することができる	
	○					就職活動における報連相を素早く行うことができる	
	○					好感もてる表情や口調で自身の伝えたいことを話し、企業の求める人材像に相応した面接ができる	
			○			自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション(就職活動状況確認)				なし	
	2	就職活動指導①(就職活動状況報告・企業研究・受験準備)				説明会資料やパンフレットを準備しておくこと 企業HPをみておくこと	
	3	学生と社会人の違い、メール・手紙のマナー				先生や企業に対し自分が普段どのようなメール(文章内容)や手紙を送っているか考えておくこと	
	4	新入社員に求められるもの、電話のマナー				先生や企業に対し自分が普段どのような電話応対をしているか考えておくこと	
	5	就職活動指導③(就職活動状況報告・履歴書作成)				履歴書に記載する内容をまとめておくこと	
	6	就職活動指導④(就職活動状況報告・履歴書添削)				履歴書の下書きをしておくこと	
	7	就職活動指導④(就職活動状況報告・面接対策)				面接で話す内容を考えておくこと	
	8	就職活動指導⑤(就職活動状況報告・面接指導)				面接練習をしておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中でマナーについての小テストを2回実施する(2)授業態度は積極的な発言・質問で評価する(3)意欲・努力は指示内容の取り組み方にて評価する(4)指示通りの提出物で評価し、宿題・レポートを数回実施する(5)受験後の報告・連絡や就職活動における相談を随時行っているかを評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				50%
	授業態度				◎		
	意欲・努力				◎		50%
	提出物状況				◎		
	報告・連絡・相談	◎					
ホームワーク				◎			
履修上の注意	欠席が3回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	ブライダルコーディネイト演習						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	井上 ゆかり		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテルにてウェディングプランナーとして勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年						
授業概要	2年間の集大成として2月に行われる模擬結婚式を成功させるための準備を行う。1年次で学んだブライダルの知識を活かし、テーマに沿ったペーパーアイテムやグッズを制作し、プログラムを考案する。ブライダルの知識向上やアイデア力向上のみでなく、役割ごとに責任感を持ち、積極性と協調性の向上も目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				結婚式を行うにあたり必要な準備物やプログラムを準備・考案できる	
				○		ブライダルアイテム(招待状・ウェルカムグッズ)などの制作物を完成することができる	
	○	○				テーマに沿ったアイテムや演出などのアイデアを出すことができる	
	○			○		議論の場では積極的に意見を述べ、また他者の意見を聞きながらまとめることができる	
○			○		役割に責任を持って行動し、進捗状況を共有することができる		
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション(模擬結婚式とは、前年度の振り返り)				なし	
	2	模擬結婚式準備①(役割分担、テーマ決め)(会場見学)				なし	
	3	模擬結婚式準備②(スケジュール確認・表作成・準備物考案)				なし	
	4	模擬結婚式準備③(進行・演出考案)				テキスト該当範囲を読んでおくこと	
	5	模擬結婚式準備④(招待状の作成スケジュール・マナー)				事前にアイデアを考えておくこと	
	6	模擬結婚式準備⑤(制作物用品買い出し・準備)(会場見学)				会場見学の場合はスーツ着用	
	7	模擬結婚式準備⑥(アイテム制作～招待状～)(会場見学)				会場見学の場合はスーツ着用	
	8	模擬結婚式準備⑦(アイテム制作～招待状、その他ペーパーアイテム～)				各自進捗状況をまとめておくこと	
	9	模擬結婚式準備⑧(進捗状況確認、物品整理)				なし	
	10	模擬結婚式準備⑨(制作物用品買い出し・制作)				買い出しリストを出しておくこと	
	11	模擬結婚式準備⑩(アイテム制作～ウェルカムボード～)				なし	
	12	模擬結婚式準備⑪(アイテム制作～ウェルカムグッズ～)				なし	
	13	模擬結婚式準備⑫(進捗状況確認、物品整理)				各自進捗状況をまとめておくこと	
	14	模擬結婚式準備⑬(ウェディングケーキデザイン考案)				事前にアイデアを考えておくこと	
15	前期振り返りとまとめ、後期への課題				事前に振り返りをしておくこと		
評価方法	主に演習授業となる為、下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		100%
	意欲・努力				◎		
	報告・連絡・相談	◎					
履修上の注意	授業に関係のない私語や行動はしないこと。外出時は時間通り行動すること。報連相の徹底。						

科目名	HRS対策 実技①						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	小形 享平		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテル料飲部にて勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科2年						
授業概要	夏季に実施される「レストランサービス技能認定試験(実技)」の合格を目指し、サービスの基礎知識、接客の基本、トラブル時の対応等を学ぶ。衛生観念を持ち、ホスピタリティの表現、販売促進など、プロの料飲サービススタッフとして必要な知識を身につける。						
授業形式	講義:	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				検定合格できるレベルのレストランサービス知識を練習に活用することができる	
	○	○	○			検定合格できるレベルのホスピタリティサービス技術を身につけ適用することができる	
	○	○				常に衛生観念を意識した行動を実施することができる	
			○	○		検定合格に向け、仲間と協力しながら積極的に協調することができる。	
テキスト・教材 参考図書	レストランサービス技能検定実技試験 課題と解説DVD(H29,30年度)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レストランサービス技能検定試験(実技)の概要、タイムトライアル			実習着、スーツを着用してください		
	2	ランチのサービス①			実習着、スーツを着用してください		
	3	ランチのサービス②			実習着、スーツを着用してください		
	4	ランチのサービス③			実習着、スーツを着用してください		
	5	ランチのサービス④			実習着、スーツを着用してください		
	6	ランチのサービス⑤			実習着、スーツを着用してください		
	7	ランチのサービス⑥			実習着、スーツを着用してください		
	8	ランチのサービス⑦			実習着、スーツを着用してください		
	9	ランチのサービス⑧			実習着、スーツを着用してください		
	10	朝食のサービス①			実習着、スーツを着用してください		
	11	朝食のサービス②			実習着、スーツを着用してください		
	12	朝食のサービス③			実習着、スーツを着用してください		
	13	朝食のサービス④			実習着、スーツを着用してください		
	14	朝食のサービス⑤			実習着、スーツを着用してください		
	15	朝食のサービス⑥			実習着、スーツを着用してください		
評価方法	①ランチサービスのテスト(実技)を実施する ②朝食サービスのテスト(実技)を実施する ③授業態度や髪や爪の状態など衛生観念に配慮した実際のサービスに相応しい服装が実施できているかどうかを評価する。 以上を下記の観点、割合で評価する 成績評価はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験:ランチ			◎	○		40%
	実技試験:朝食			◎	○		40%
	授業態度・服装				◎		20%
履修上の注意	服装・髪型、爪は毎回整えて参加すること。						

科目名	HRS対策 筆記					
科目名(英)						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	小形 享平	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテル料飲部にて勤務	
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科2年					
授業概要	夏季に実施される「レストランサービス技能検定試験(学科)」の合格を目指し、食材・飲料などの基礎知識、接客の本、宴会やレストランに関する知識、食文化などを学ぶ。また、食品衛生、安全衛生など、衛生に関する基礎を学び、今後の就業や生活に必要な知識を身につける。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○				検定合格できるレベルの料飲に関する知識を身につけ応用することができる
		○				食品、食材の特性を知り、区別することができる
		○				食中毒の種類、発生原因を学び、将来の業種や日常生活に応用することができる
	○		○			減点方式という特殊な採点方法に慣れ、確実に合格できるレベルの知識を準備できる
テキスト・教材 参考図書	西洋料理 料飲接客サービス技能 (社)日本ホテル・レストランサービス技能協会監修					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	技能検定試験の概要、一年時復習テスト				
	2	食品の分類と特徴、保存について			前授業の範囲を復習しておくこと	
	3	西洋料理に使用される主な食材 前菜から肉類まで			前授業の範囲を復習しておくこと	
	4	西洋料理に使用される主な食材 野菜からデザートまで			前授業の範囲を復習しておくこと	
	5	調理技法 ワインの基礎知識			前授業の範囲を復習しておくこと	
	6	レストランで提供されるアルコール飲料			前授業の範囲を復習しておくこと	
	7	レストランで提供される飲み物の特徴 ノンアルコール			前授業の範囲を復習しておくこと	
	8	レストランのメニュー コース料理とアラカルト			前授業の範囲を復習しておくこと	
	9	食材・技法についての確認テスト			1～8回の授業内容を復習しておくこと	
	10	食器用具 銀食器・陶磁器・ガラス容器の種類と特徴				
	11	料飲サービス① スタッフに求められる資質			前授業の範囲を復習しておくこと	
	12	料飲サービス② 宴会の種類とサービス			前授業の範囲を復習しておくこと	
	13	料飲サービス③ レストランのサービス方法、セッティング			前授業の範囲を復習しておくこと	
	14	料飲サービス④ レストランの案内から注文、販売促進			前授業の範囲を復習しておくこと	
	15	食事の国際習慣と食文化			前授業の範囲を復習しておくこと	
	16	施設管理 苦情対応と遺失物の取り扱いについて			前授業の範囲を復習しておくこと	
	17	食品衛生① 食中毒の分類と特徴			前授業の範囲を復習しておくこと	
	18	食品衛生② 寄生虫と害虫の感染症			前授業の範囲を復習しておくこと	
	19	食品衛生③ 食品の保存、殺菌と消毒について			前授業の範囲を復習しておくこと	
	20	安全衛生① 労働災害の傾向			前授業の範囲を復習しておくこと	
	21	安全衛生② 労働衛生管理			前授業の範囲を復習しておくこと	
	22	過去問2018を解いてみよう			合格点がとれるよう、復習しておくこと	
	23	誤答数の多い問題を解いてみよう			合格点がとれるよう、復習しておくこと	

評価方法	①毎授業の頭に前授業の小テストを実施する ②中間試験を実施する ③定期試験を実施する 以上を下記の観点、割合で評価する 成績評価はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	○		◎		25%
	中間テスト・過去問	◎	○				25%
	定期試験	◎	○				50%
履修上の注意							

科目名	ホテルマネジメント①						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15	担当者	小形 享平		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテル料飲部にて勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科2年生						
授業概要	ホテル経営を中心に幅広く学び、就職後の業務に必要なホテルの基礎知識を習得する。 ホテルビジネス実務検定ベーシック2級合格を目標とする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎				○	後期のホテルビジネス実務検定ベーシック2級に合格できるよう準備ができる	
	○					日本のホテル業界の基礎と歴史を学び関係づけることができる	
	○					ホテル営業の基本となる部門別の特性と実務を学び比較することができる	
テキスト・教材 参考図書	ホテルビジネス基礎編 一般財団法人日本ホテル教育センター						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ホテルビジネス実務検定の概要 観光産業の概況					
	2	ホテル産業の概況			前回授業の復習をしてください		
	3	実務者としての知識			前回授業の復習をしてください		
	4	宿泊部門の概要			前回授業の復習をしてください		
	5	宿泊部門の実務			前回授業の復習をしてください		
	6	料飲部門の概要			前回授業の復習をしてください		
	7	料飲部門の実務			前回授業の復習をしてください		
	8	前期授業のまとめ			前回授業までの復習をしてください		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業態度は積極的な発言・質問で評価する。(2)授業内で実施する小テストの点数で評価する (3)定期試験の点数で評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				○	○	20%
	小テスト		○				30%
	定期試験		○				50%
履修上の注意	2コマ目以降、毎授業ごとに前回の授業の小テストを実施するので、復習を欠かさない事。						

科目名	観光概論(観光学基礎)						
科目名(英)	Tourism Science Basics						
単位数	1	時間数	15	担当者	齊藤 道幸		
実施年度	2020年	実施時期	前期	担当者実務経験	旅行会社で企画・営業・管理を経験		
対象学科・学年	ホテルブライダル科2年						
授業概要	「観光とは何か、観光産業とはどのような産業か、観光ビジネスの特性とは何か」といった観光を学ぶ上で必要な基本的な事項について、理解する。そして、身近な地域の観光活性について考える。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				観光とはどういうものか。その歴史を学び、説明できる。	
	○	○				観光が社会、日常生活に与える影響を考え、それぞれ整理し説明できる。	
	○	○				観光産業はどのようなものか。その特性とは何かを考え、説明できる。	
	○					観光にまつわる言葉の意味を理解し、それぞれ述べるようになる。	
	○	○				以上学習を通じ地域社会の活性を意識できるようになることを目指す。	
テキスト・教材 参考図書	・「観光学基礎」JTB総合研究所刊 ・講師作成レジメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	旅 旅行 観光とはどういうものか。その歴史、語源は。					
	2	観光について学び意義。観光の効果について考える。				テキストの該当範囲を事前読んでおくこと。	
	3	レジャー・レクリエーション・ホスピタリティとは。				テキストの該当範囲を事前読んでおくこと。	
	4	観光のしくみ。観光を構成する要素。観光産業の意味としくみ。				テキストの該当範囲を事前読んでおくこと。	
	5	観光資源と観光対象について。				テキストの該当範囲を事前読んでおくこと。	
	6	観光産業の定義と種類。観光ビジネスの特徴。				テキストの該当範囲を事前読んでおくこと。	
	7	観光政策と観光行政(インバウンド)。新しい観光へ。				テキストのテスト範囲並びに講師作成レジメのチェック。	
	8	確認テスト実施				テスト解答できない箇所の復習	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	・小テスト(確認テスト)を最終講義日に実施する。また授業の際、最近興味をもったニュース、出来事を各自発表する。(授業態度・積極性の評価対象)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	○				60%
	授業態度・積極性	○	○		◎		40%
履修上の注意	・欠席3回以上で、単位不可。確認テスト公欠で参加できない場合は、レポート提出(課題は講師指示)						

科目名	色彩・配色①						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	野正 真紀		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門学校等において色彩教育に従事 ライフ・カラーカウンセラーとして活動中		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科2年						
授業概要	パーソナルカラー(その人の「自分らしさ」を魅力的に引き出し、印象良く見せてくれる色)の基礎と診断スキルの修得を通して、自分に似ある色を知り、社会人・職業人としての自己表現力、コミュニケーション力を高め、自分を磨く。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日本カラーコーディネーター協会「色彩活用パーソナルカラー検定3級」合格の為の知識を習得できる	
	○	○		○		パーソナルカラー診断実習を通して、自分の魅力を引き出す色を客観的に知ることができる	
	○	○		○		配色演習を通してその色のイメージや美しい色の組み合わせを知り、カラーセンスを養って自己表現力を高めることができる	
	○	○		○		色の視覚的効果や心理的影響を知り、卒業後のビジネスシーンに役立てることができる	
テキスト・教材 参考図書	色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級 (日本カラーコーディネーター協会 産経新聞出版) 色彩活用パーソナルカラー検定3級、2級公式問題集 (日本カラーコーディネーター協会)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~3	色の基本について - 色の分類と三属性				※ 進行に沿ったテキスト・問題集、配布プリントの予習、復習をしておくこと ※ カラーカードを使った演習、ビジュアルコラージュなどは授業時間内に完成できなかった場合は宿題となる。	
	4	トーンについて - トーンの分類					
	5	「色彩活用」としてのパーソナルカラー - パーソナルカラーとはP.Tとは					
	6~8	パーソナルカラーの基本 - パーソナルカラーの4つのグループ					
	9~12	色のイメージを豊かにする - 4タイプのカラーパレットをイメージ ビジュアルコラージュ作成					
	13~15	「似合う色」の基準を知る - もって生まれた色素と似合う色					
	16~17	「似合う色」を客観的に探す - 色の対比、光の反射・吸収					
	18~19	ドレーピング方法 - 準備と環境 似合う色とは					
	20~21	ドレーピング方法 - ドレーピング実習					
	22~24	「似合う色」を取り入れる - 4タイプの色を取り入れ方 P.Tを生かした自分ブランディング					
	25~27	検定直前総復習 - 過去問題 解答と解説					
28	ブライダルにおけるパーソナルカラー - ブライダルウェアのカラーコーディネート						
評価方法	(1)日本カラーコーディネーター協会「色彩活用パーソナルカラー検定3級」受験 可否結果 (2)小テスト (色彩確認テスト 全10回)実施 (3)ビジュアルコラージュ(作品)作成 以上の評価として、90点以上(S)、80点以上(A)、70点以上(C)、60点以上(D)、59点以下(D)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他(色感)	評価割合
	定期試験(検定)	○	○		○	○	50%
	小テスト(10回)	○	○		○	○	50%
	宿題・作品	○	○		○	○	
履修上の注意	その他の教材(毎回準備) カラーカード199a、24色色鉛筆、カッティングマット、ペーパーボンド、スチール定規、カッター、A4クリアファイル						

科目名	ウェディングプラン演習						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	畑迫二郎		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテルにて宴会部・婚礼部にて実務経験		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年						
授業概要	2年間の集大成として2月に行われる模擬結婚式を成功させるための準備を行う。1年次で学んだブライダルの知識を活かし、テーマに沿ったウェディングプランや演出を考案し、プログラムに沿って計画実行する。ブライダルの知識向上やアイデア力向上のみでなく、役割ごとに責任感を持ち、積極性と協調性の向上も目指す。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				結婚式を行うにあたり必要な準備物やプログラムを準備・考案できる	
				○		模擬結婚式に向けスケジュール通り準備することができる	
				○		自分役割以外にも目を向け、協力・助言が出来る	
	○					模擬披露宴会場側との打ち合わせ交渉が出来る	
			○		役割に責任を持って行動し、進捗状況を共有することができる		
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード>						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	模擬結婚式準備①(進捗状況の確認)					
	2	模擬結婚式準備②(制作物用品買い出し準備)				買い出しリストを作成しておくこと	
	3	模擬結婚式準備③(制作物用品買い出し)				外出時の注意事項	
	4	模擬結婚式準備④(アイテム制作～招待状、その他ペーパーアイテム～)				なし	
	5	模擬結婚式準備⑤(アイテム制作～ウェルカムグッズ～)				各自進捗状況をまとめておくこと	
	6	模擬結婚式準備⑥(進捗状況確認、物品整理)				なし	
	7	模擬結婚式準備⑦(ウェディングケーキデザイン考案)				事前にアイデアを考えておくこと	
	8	前期振り返りとまとめ、後期への課題				事前に振り返りをしておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	主に演習授業となる為、下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		100%
	意欲・努力				◎		
	報告・連絡・相談	◎					
履修上の注意							

科目名	一般教養Ⅱ						
科目名(英)	General Education						
単位数	2単位	時間数	30	担当者	乗鞍 弘毅		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	進学塾講師		
対象学科・学年	ホテルブライダル2年						
授業概要	言語分野では、言葉の意味や話の要旨を的確にとらえて理解できる力を養い、非言語分野では、数的な処理や、論理的思考力養う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					一般常識の用語を理解し、意味を述べるができる	
		○				用語が表す仕組みや働きを理解し、説明できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	一般常識 & 最新時事 一問一答【頻出1500問】						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	§ 001国内政治 § 002憲法・法律・司法 § 003震災復興				答えられなかった問題を覚える。	
	2	§ 004制度改革 § 005社会問題 § 006経済問題 § 007各国指導者				答えられなかった問題を覚える。	
	3	§ 008国際問題 § 009国際紛争・地域紛争 § 010領土問題 011経済協定				答えられなかった問題を覚える。	
	4	§ 012アメリカ・ヨーロッパ § 013アジア・アフリカ § 014イラン・イラク § 015北朝鮮				答えられなかった問題を覚える。	
	5	§ 016新エネルギー § 017環境問題 § 018宇宙開発 § 019世界遺産				答えられなかった問題を覚える。	
	6	§ 020ノーベル賞 § 1-1 漢字の書き取り § 1-2 漢字の読み				答えられなかった問題を覚える。	
	7	§ 1-3 難読漢字 § 1-4 同音異義語 § 1-5 同訓異義語 § 1-6 類義語・対義語				答えられなかった問題を覚える。	
	8	§ 1-7 四字熟語 § 1-8 ことわざ・慣用句 § 1-9 敬語 § 1-10 誤文訂正				答えられなかった問題を覚える。	
	9	<復習> § 001国内政治 § 002憲法・法律・司法 § 003震災復興				答えられなかった問題を覚える。	
	10	<復習> § 004制度改革 § 005社会問題 § 006経済問題 § 007各国指導者				答えられなかった問題を覚える。	
	11	<復習> § 008国際問題 § 009国際紛争・地域紛争 § 010領土問題 011経済協定				答えられなかった問題を覚える。	
	12	<復習> § 012アメリカ・ヨーロッパ § 013アジア・アフリカ § 014イラン・イラク § 015北朝鮮				答えられなかった問題を覚える。	
	13	<復習> § 016新エネルギー § 017環境問題 § 018宇宙開発 § 019世界遺産				答えられなかった問題を覚える。	
	14	<復習> § 1-1~5				答えられなかった問題を覚える。	
15	<復習> § 1-6~10				答えられなかった問題を覚える。		
評価方法	定期試験の結果(100%)により評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語Ⅱ－①						
科目名(英)	Prctical English II－①						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系企業の秘書として勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○				TOEIC問題を解く際に必要な文法を説明することができる。		
	○				TOEIC頻出単語・熟語を覚え、応用できる。		
	○				様々な国の発音に慣れ、話の内容を聞き取り、日本語でも述べることができる。		
○				ビジネス文書や記事を読み、内容を日本語に訳することができる。			
テキスト・教材 参考図書	・TOEIC Listening&Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会) ・TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ (朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス確認、TOEICテストの概要と学習方法、聴解の勉強方			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	2	Listening (Section1 &2)、Reading Part 5(語彙①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	3	Listening (Section3&4)、Reading Part 5(語彙②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	4	Listening (Section 5&6)、Reading Part5(文法 品詞①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	5	Listening (Section7 &8)、Reading Part5(文法 品詞②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	6	Listening (Section9 &10)、Reading Part6(長文空所問題①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	7	Listening (Section11 &12)、Reading Part6(長文空所問題②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	8	Listening (Section 13 &14)、Reading Part7(長文読解①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	9	Listening (Section 15 &16)、Reading Part7(長文読解②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	10	Listening (Section 17 &18)、Reading Part7(長文読解③)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	11	Listening (Section 19 &20)、Reading Part7(長文読解④)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	12	演習問題 Test 1 (Listening)、解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	13	演習問題 Test 1 (Reading)、解答解説①			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	14	演習問題 Test 1 (Reading)、解答解説②			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	15	公式問題分野別学習 Reading:Part 5 Listening:Part1			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	16	Reading:Part 5 Listening: Part 2			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	17	Reading:Part 5 Listening: Part 2			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	18	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	19	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	20	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	21	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	22	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	23	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	24	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	25	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	26	総合問題 Test 2 (Listening)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	27	総合問題 Test 2 (Listening) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	28	総合問題 Test2 (Reading)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	29	総合問題 Test2 (Reading) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	30	総合問題 Test2 (Reading) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 (4)検定結果以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 TOEICの受験結果を評価する。450点以上を100点、425点～445点を90点、400～420点を80点、360～395点を70点、270点以上を60点以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト(単語テスト)	○	○				25%
	朝自習プリント・宿題	○	○		○		15%
TOEIC検定	○	○				10%	
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語Ⅱ－①(A2クラス)									
科目名(英)	Prctical English II－①(A2 Class)									
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	深川信子					
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	予備校・塾にて英語講師として勤務					
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年									
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。									
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○	その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解する事ができる。				
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。				
		○				様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解する事ができる。				
		○				ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる。				
テキスト・教材 参考図書	・TOEIC Listening&Reading 問題集5(国際ビジネスコミュニケーション協会) ・TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) ・TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	シラバス確認、文法:unit1、Listening:Part1								
	2	文法:unit2-4 Listening:Part2				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	3	文法:unit5-7 Listening:Part2				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	4	文法:unit8-10 Listening:Part2				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	5	文法:unit11-13 Listening:Part2				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	6	文法:unit14-16 Listening:Part3				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	7	文法:unit17-19 Listening:Part3				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	8	文法:unit20-22 Listening:Part3				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	9	文法:unit23-25 Listening:Part3				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	10	文法:unit26-28 Listening:Part3				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	11	文法:unit29-31 Listening:Part3				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	12	文法:unit32-34 Listening:Part3				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	13	文法:unit35-37 Listening:Part3				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	14	文法:unit38 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	15	Reading:Part5 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	16	Reading:Part5 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	17	Reading:Part5 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	18	Reading:Part6 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	19	Reading:Part6 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	20	Reading:Part6 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	21	Reading:Part6 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	22	Reading:Part7 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	23	Reading:Part7 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	24	Reading:Part7 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	25	Reading:Part7 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	26	Reading:Part7 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	27	Reading:Part7 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	28	Reading:Part7 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	29	Reading:Part7 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
	30	Reading:Part7 Listening:Part4				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分の音読				
履修上の注意	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験	◎	◎				50%			
	小テスト	◎					25%			
宿題・レポート	◎	○		○		25%				
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習									

科目名	実用英語Ⅱ－①（Bクラス）					
科目名(英)	Practical English for STEP 2nd Grade II－①(B Class)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	蟻川 信三	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	福岡県立高等学校27年間勤務	
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科2年					
授業概要	就職活動の資格試験として、実用英語検定試験2級合格を目指します。英語検定2級の問題を中心に、リーディング・リスニングを中心に演習を行います。また、英文読解力・語彙の強化に努め、英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とします。					
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:	
					実技:	
					※ 主たる方法:	○ その他: △
学習目標 (到達目標)	目標					
	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○				語彙: 英語検定2級レベルの語彙(約4000~5000語)の意味が理解できるようになる	
	○				読む: まとまりのある説明文を理解し、実用的な文から必要な内容を読み取ることができるようになる。	
	○	○			書く: 日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができるようになる	
	○				聞く: 様々な内容の英語を理解し、正しく聴き取れるようになる	
	○			話す: 日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができるようになる		
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 英検2級DAILY20日集中ゼミ ・旺文社 である順パス英検2級 1700語					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	プレースメントテスト 4/13				
	2	プレースメントテスト(FBを行う) & 英検2級の概要説明 4/14				
	3	序説: 名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素(S/V/O/C/M) 4/16			左記の内容をそれぞれ言えるように覚えること	
	4	序説: 英語の5文型と文の構造 4/20			各文型の基本構造を言えるように覚えること 「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう	
	5	1日目: 短文の語句空所補充問題①(単語)解説&問題 4/21			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	6	2日目: 短文の語句空所補充問題②(熟語)解説&問題 4/23			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	7	3日目: 短文の語句空所補充問題③(文法)解説&問題 4/27			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	8	4日目: 短文の語句空所補充問題④(語法)解説&問題 4/28			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	9	5日目: 長文の語句空所補充問題①解説&問題「A」・「B」4/30			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	10	6日目: 長文の内容一致選択問題①解説 5/7			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	11	6日目: 長文の内容一致選択問題①問題「A」・「B」 5/7			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	12	7日目: 長文の内容一致選択問題②解説 5/11			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	13	7日目: 長文の内容一致選択問題②問題「A」・「B」 5/11			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	14	8日目: 英作文の問題① 解説 5/12			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	15	8日目: 英作文の問題① 問題 5/12			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	16	9日目: 会話の内容一致選択問題① 解説&問題 5/14			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	17	10日目: 文の内容一致選択問題① 解説&問題 5/18			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	18	11日目: 【応用】短文の語句空所補充問題単語⑤ 5/18			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	19	演習: リスニング特訓① 5/19			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	20	12日目: 【応用】短文の語句空所補充問題熟語⑥ 5/19			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	21	13日目: 【応用】短文の語句空所補充問題文法⑦ 5/21			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	22	14日目: 【応用】短文の語句空所補充問題語法⑧ 5/21			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	23	演習: リスニング特訓② 5/25			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	24	15日目: 【応用】長文の語句空所補充問題②-A 5/25			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	25	15日目: 【応用】長文の語句空所補充問題②-B 5/26			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	26	演習: リスニング特訓③ 5/26			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	27	16日目: 【応用】長文の語句空所補充問題③-A 5/28			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	28	16日目: 【応用】長文の語句空所補充問題③-B 5/28			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	29	演習: リスニング特訓④ 5/29			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	30	前期定期考査(筆記) 5/29				
評価方法	① 定期考査を実施する(筆記) ② 月曜日から金曜日まで、毎朝授業前に単語の小テストを行う ③ 宿題を数回課す。④ 授業中の取り組みや発表を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:59点以下 とする					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			50%
	小テスト	◎	○		○	25%
	宿題・レポート	◎	○		○	5%
発表・作品	◎	○		○	20%	
履修上の注意	① 授業前の予習は必ず行うこと。復習より予習の方が大切である。 ② 辞書(電子辞書可)を必ず持参すること。 ③ 筆記用具は必ず持参すること ④ 授業中のスマホ等の使用は絶対に禁止!(スマホ等での辞書アプリ禁止)					

科目名	実用英語Ⅱ－①					
科目名(英)						
単位数	4	時間数	60	担当者	内丸 誌帆	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門学校にて講師として勤務	
対象学科・学年	ホテルブライダル科 2年					
授業概要	英検準2級合格を目標とする。 基本的な文法・単語を理解し、ホテル・空港、またそれに準ずる業務に必要な最低限度の英語力を身につける。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					準2級程度の文法を理解し、過去問題を解くことができる。
	○	○				頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる
				○		宿題・授業内での課題を期限内に提出できる
テキスト・教材 参考図書	旺文社 2020年度版 英検準2級 過去6回 全問題集／でる準パス単 英検準2級					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	実用英語1 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習	
	2	実用英語2 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習	
	3	実用英語3 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習	
	4	実用英語4 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習	
	5	実用英語5 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習	
	6	実用英語6 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習	
	7	実用英語7 長文の語句空所補充			単語テストに向けた学習	
	8	実用英語8 長文の語句空所補充			単語テストに向けた学習	
	9	実用英語9 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習	
	10	実用英語10 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習	
	11	実用英語11 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習	
	12	実用英語12 英作文問題① / リスニング			単語テストに向けた学習	
	13	実用英語13 英作文問題① / リスニング			単語テストに向けた学習	
	14	実用英語14 英作文問題② / リスニング			単語テストに向けた学習	
	15	実用英語15 英作文問題② / リスニング			単語テストに向けた学習	
	16	実用英語16 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習	
	17	実用英語17 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習	
	18	実用英語18 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習	
	19	実用英語19 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習	
	20	実用英語20 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習	
	21	実用英語21 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習	
	22	実用英語22 長文の語句空所補充			単語テストに向けた学習	
	23	実用英語23 長文の語句空所補充			単語テストに向けた学習	
	24	実用英語24 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習	
	25	実用英語25 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習	
	26	実用英語26 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習	

	27	実用英語27 英作文問題① / リスニング	単語テストに向けた学習				
	28	実用英語28 英作文問題① / リスニング	単語テストに向けた学習				
	29	実用英語29 英作文問題② / リスニング	単語テストに向けた学習				
	30	実用英語30 学期末試験					
評価方法	小テスト・宿題・提出物・定期試験を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				30%
	宿題・レポート		○				20%
履修上の注意	課外だけでなく講義内でも単語テストを実施し、期末の成績に反映されるので自宅学習を徹底すること						

科目名	実用英語Ⅱ-①					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	波多野 里美	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	ホテルブライダル 2年					
授業概要	英検過去問題の文法、読解、リスニング、ライティングと徹底的に学習することにより、英検準2級合格を目指します。毎朝、朝課題として英単語と英熟語を学習してください。毎回リスニングを実施します。テキスト英検準2級過去問題集を徹底的に取り組みますので各自、予習・復習を実施すること。何度も学習することにより、日常生活に必要な英語を理解し、活用することが出来るレベルを目指します。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					英検準2級の合格するために必要、英語に関する語彙や知識を述べるができる。
	○					英検準2級の英単語・熟語を書き覚えることができる。
	○					英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。
	○					英検準2級の文法・読解を学習し、筆記問題に対応できる力をつける。
	○					英検準2級程度の英作文のスキルを身に付ける。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社) ・英検準2級をひとつひとつわかりやすく(学研) 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・文法			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	16	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	18	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	19	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	20	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	21	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	22	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	23	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	24	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		

	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	29	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	30	英語C-②クラス 学期末試験	前期の授業内容全般を復習しておくこと				
評価方法	(1) 学年末試験(筆記)を実施する。(2) 授業の中で小テストを4回実施する。(3) 宿題提出状況以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学期末試験	○					80%
	小テスト	○					10%
	宿題	○			○		10%
履修上の注意	授業に電子辞書または英語辞典を必ず持参してください。 出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語Ⅱ-①					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	夏山恵	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	ホテルブライダル科 2年					
授業概要	基本的な単語、文法を習得し、中学校卒業レベルの英語力を習得する。 出題形式に沿った演習と精聴リスニングの訓練を行い、英検3級取得を目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					1200語程度の単語、熟語力を身につける。
	○	○				テキストの課題文について9割以上英語で解答することができる。
	○	○				テキストのリスニング内容をほぼノーマルスピードで聞き取り、音読することができる。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・啓隆社 Baton Pass G1 ・旺文社 英検3級でる順パス単／英検3級出る順パス単書き覚えノート ・過去問題演習プリント ・ジャパンタイムズ はじめての英語音読 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業のガイダンス-授業の基本方針とスケジュールの説明、自らの動機とゴール設定の明確化				
	2	・現在時制、過去時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	3	・進行形、未来時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	4	・まとめ小テスト① ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5	・疑問文、命令文、名詞、冠詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	6	・代名詞、助動詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	7	・まとめ小テスト② ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	8	・動名詞、不定詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	9	・形容詞、副詞、比較 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	10	・まとめ小テスト③ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11	・受動態、現在完了形 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	12	・分詞、関係代名詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	13	・まとめ小テスト④ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	14	・文構造、否定疑問文、付加疑問文、間接疑問文 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	15	・前置詞、接続詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	16	・まとめ小テスト⑤ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	17	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	18	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	19	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	20	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
21	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと		

	22	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	23	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	24	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	25	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	26	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	27	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	28	実力完成模擬テスト①(筆記)	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
	29	実力完成模擬テスト②(リスニング)	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
	30	定期試験	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを5回実施する。 (3)授業への参加状況(音読の取り組み姿勢や積極的な発言) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	授業への参加態度	○			○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英会話Ⅱ-①						
科目名(英)	English CommunicationⅡ-①						
単位数	2	時間数	30	担当者	Robert Sumner		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	English Teacher		
対象学科・学年	Hotel Bridal 2nd Grade						
授業概要	Provide students with motivation to learn English Give students confidence to believe they can improve Provide English skills for Everyday English to the work environment						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					To learn everyday vocabulary & remember key words	
		○				Study to give students confidence to express themselves	
				○		Encourage students to speak with confidence & positive attitude	
テキスト・教材 参考図書	Person to Person Third 1 Student Book with Audio CD, Talk a Lot BOOK1, Worksheets						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Let's talk about Food					
	2	how do I get there?					
	3	How do you like the city?					
	4	Maps & Giving direction					
	5	First conditional					
	6	Hotel English & Vocabulary					
	7	Dealing with customers					
	8	Inflight announcement: safety					
	9	Arrival check in & check out					
	10	Hotel Dialogues					
	11	Comparatives					
	12	What would you like?					
	13	Ordering food/drinks					
	14	Test Preperation					
15	End of term Test						
評価方法	(1) Term Examination (2) Attitude and Participation in the class Evaluation: S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	態度・意欲				◎		50%
履修上の注意							

科目名	社会教養Ⅱ						
科目名(英)	Practice for Job-huntingⅡ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系企業の秘書として勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科2年						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につける。まずは、就職活動における企業研究・履歴書添削・面接指導を行い就職内定へ繋げる。また、クラスや学科行事を行い学科・学年を跨いで交流を深める事でコミュニケーション力向上や協調性を身につけ業界へ適した人材育成に繋げる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持することができる	
				○		社会人としてのマナー(挨拶・電話・メール・態度など)を身につけ実践することができる	
	○					就職活動における報連相を素早く行うことができる	
	○					好感もてる表情や口調で自身の伝えたいことを話し、企業の求める人材像に相応した面接ができる	
			○			自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント、マナープロトコルの基礎知識 & 検定2級・3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション(目標設定・各委員役割分担・HB2年次の学習目標他)			なし		
	2	学科行事(新入生歓迎会)			簡単な自己紹介や新入生が学校生活に馴染めるような場の設定やコミュニケーション方法を考えておくこと		
	3	就職活動指導①(就職活動状況報告・企業研究・受験準備)			説明会資料やパンフレットを準備しておくこと 企業HPをみっておくこと		
	4	学校行事準備①(役割分担・ディスカッション)			なし		
	5	就職活動指導②(就職活動状況報告・履歴書作成)			履歴書に記載する内容をまとめておくこと		
	6	就職活動指導③(就職活動状況報告・履歴書作成・添削)			履歴書の下書きをしておくこと		
	7	就職活動指導④(就職活動状況報告・履歴書添削・面接対策)			履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと		
	8	就職活動指導⑤(就職活動状況報告・履歴書添削・面接対策)			履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと		
	9	就職活動指導⑥(就職活動状況報告・面接指導)			面接練習をしておくこと		
	10	学科行事(観光系合同交流会)			なし		
	11	学科行事(観光系合同交流会)			なし		
	12	社会人としてのマナー・プロトコルの知識習得(復習)			プロトコル教科書を読んでおくこと		
	13	学科行事(実習壮行会)			1年次の実習を振り返り、実習ノートや実習で使用したメモ・資料を準備しておくこと		
	14	学科行事(テーブルマナー)			テーブルマナーについて復習し心構えをしておくこと		
15	学科行事(テーブルマナー)			テーブルマナーについて復習し心構えをしておくこと			
評価方法	(1)授業中の取り組み態度、グループとの関わりを評価する (2)担当する役割への意欲や努力を評価する (3)提出物は各期限を設定する (4)周囲や指示を出した人への報告・連絡・相談 (5)ホームワークを数回実施する以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		100%
	意欲・努力				◎		
	提出物状況				◎		
	報告・連絡・相談	◎					
ホームワーク				◎			
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	プレゼンテーション演習						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	北島正幸		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	国立大学法人にてテクニカルスタッフとして勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年						
授業概要	あらゆるビジネスシーンに最も活用されている「プレゼンテーションソフトMicrosoft PowerPoint」。そのPowerPointの基本の習得を目指すとともにプレゼンテーションを経験します。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					プレゼンテーションに必要なテクニックを身に付け、応用できる	
		○	○			パワーポイントを使ってプレゼンテーションの資料を作成できるようになる	
		○	○			パワーポイントを使ってプレゼンテーションを行うことができる	
テキスト・教材 参考図書	情報利活用プレゼンテーション						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	プレゼンテーションの企画					
	2	わかりやすいストーリー構成					
	3	必要な情報の収集					
	4	センスアップするレイアウトデザイン					
	5	視覚に訴えるチャート化					
	6	訴求力を上げるカラー化					
	7	数値をアピールする表・グラフ活用					
	8	イメージを伝えるイラスト・写真活用					
	9	発表で魅せるアニメーション					
	10	作品作成					
	11	発表					
	12	自信を高める万全な準備					
	13	メッセージが伝わる発表スキル					
	14	信頼を得る質疑応答					
15	期末試験						
評価方法	(1)期末試験を実施する。(2)プレゼンテーションを評価 (3)講義出席・課題提出のすべて行って平常点100点満点とする。期末試験を受験しなかった場合、またはプレゼンテーションを行わなかった場合は別途担当教員から試験・またはレポートを課す。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験	◎	◎				25%
	プレゼンテーション	◎	◎				25%
	平常点				◎		50%
履修上の注意	プレゼンテーションの各自行ってまいりますので、テーマを早めに考えてください。						

科目名	プロトコール						
科目名(英)	Manner Protocol						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系企業の秘書として勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科2年						
授業概要	・日本人として、社会人として必須のビジネスマナー、テーブルマナー、プロトコール(国際儀礼)、冠婚葬祭に関わる知識を身につける ・ホテル業界やブライダル業界における接客、サービスの仕事をする際に、これらの知識を活かす。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				プロトコール(国際儀礼)の原則を理解し、自然にスマートに実践することができる	
	○	○				歴史、風俗、宗教、文化の隙を知ったうえで、相手を尊重し自国のものを強制しない態度がとれる	
	○	○				ビジネスシーンにおいて相手に好ましい印象を与える話し方や表情を学び、実践することができる	
	○					冠婚葬祭についてのルールを理解し、状況に応じた正しい振る舞いができる	
○					日本文化に関する知識を得、諸外国の方々にその文化について説明ができる		
テキスト・教材 参考図書	NPO法人日本マナー・プロトコール協会出版 マナー&プロトコールの基礎知識 NPO法人日本マナー・プロトコール協会出版 マナー・プロトコール検定2級、3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	マナー、エチケット、礼儀、作法の違い			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	国際人としてのプロトコール			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	社会人に必要なマナー			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	ビジネスシーンのマナー①(名刺の扱い方、電話応対)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	ビジネスシーンのマナー②(来客応対、ビジネス文書)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	食事のマナー①(和食テーブルマナー、和室の作法)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	食事のマナー②(西洋料理、中華料理他)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	「冠」のしきたり、冠婚葬祭とは 主な通過儀礼について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	「婚」のしきたり			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	「葬」のしきたり(仏式、神式、キリスト教式)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	「祭」のしきたりと冠婚葬祭のまとめ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	マナープロトコール3級検定対策①			前回の問題の復習と弱点箇所の洗い出し		
	13	マナープロトコール3級検定対策②			前回の問題の復習と弱点箇所の洗い出し		
	14	マナープロトコール3級検定対策③			前回の問題の復習と弱点箇所の洗い出し		
15	マナープロトコール3級検定対策④			前回の問題の復習と弱点箇所の洗い出し			
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回以上実施する (2)授業前課題、宿題を数回実施する (3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	○		○		30%
	宿題	○			○		20%
	定期試験	◎	○				50%
履修上の注意	授業準備としての予習・復習を欠かさないこと。授業にはノートを持参し、講義で重要と思われる内容を記録すること。記録内容の精度も成績の一部として評価する。						